

サステナビリティ経営方針

2025年9月

東和工業株式会社

代表取締役 柿沼 一路

サステナビリティ経営方針

世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。

また、近年、SDGsへの関心の高まり等、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

当社事業の意義

製缶・板金は、鉄等の金属を切断や曲げの加工・溶接等を行い製品を製造する技術であり、製造業のものづくりを支える技術の一つです。当社は製缶・板金業として、産業機械や建設機械等の産業分野向けの製缶・板金製品を製造しており、ものづくりを支えています。

また、省エネ型生産設備の導入やハイブリット車の導入等、温室効果ガスの排出削減、労働環境の改善といった社会課題の解決にも貢献しています。

今回の検討結果

当社は、製缶・板金業として、設備及び技術の高度化を図り、製造業等のものづくりを支えています。一方、持続可能な成長のためには、人手不足が深刻化する中で、多様な人材が生き活きと働ける環境の整備が必要です。また、環境課題への対応として、温室効果ガスの削減、省資源等の取り組みに加え、災害等による事業中断リスクの低減や個人情報を含めた情報管理体制の構築による情報漏洩リスク等の低減に取り組むことが必要と考えます。そこで以下の四つの課題を重要課題(マテリアリティ)として、取り組みを充溢・強化してまいります。

*** マテリアリティ ***

ダイバーシティ
経営の推進

働きやすい職場
環境の整備

環境負荷の低減

事業継続リスク
の低減

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

ダイバーシティ経営の推進

選定理由

年齢・性別・国籍にかかわらず多様な人材が活躍できる環境を整備することは持続的な成長に繋がることからマテリアリティに選定

アクションプラン

- ・ 外国人や女性にも配慮した就業規則等の整備
- ・ 女性従業員の雇用拡大
- ・ リファラル(紹介・推薦)採用の継続

取り組み効果

- ・ 生産性の向上
- ・ 従業員満足度の向上



マテリアリティ

働きやすい職場環境の整備

選定理由

従業員が安心して働き続けられる職場環境を整備することは持続的な成長に繋がることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- ・ ストレスチェックの実施
- ・ 1 on 1ミーティングを実施(四半期に1回)
- ・ 安全衛生パトロールを実施(毎月)

取り組み効果

- ・ 従業員満足度の向上
- ・ 雇用機会の創出



KPI(目標と指標)

- ・ 2026年までに人権や公平性を踏まえた就業規則の見直しを実施
- ・ 技能実習生、特定技能の継続運用
- ・ 毎年1名以上リファラル採用を行う

KPI(目標と指標)

- ・ 健康経営優良法人認定を継続取得
- ・ 労災件数0件を継続

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

環境負荷の低減

選定理由

温室効果ガスを削減することや省資源の取り組みを推進することは、環境負荷の低減に繋がる取り組みであることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 製造工程の見直しによる不良品の削減

取り組み効果

- 環境負荷の低減
- 業務効率化



KPI(目標と指標)

- 材料の歩留まり率を90%にする
(2024年実績:85%)

マテリアリティ

事業継続リスクの低減

選定理由

事業継続に関するリスク管理を適切に実施すること、個人情報等の情報管理を適切に行うことは、企業の信頼性の向上等に繋がる取り組みであることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- BCP策定に向けた業務の洗い出し
- 保有する情報を重要度に応じて仕分ける

取り組み効果

- 事業中断リスクの低減
- 企業信用力の向上



KPI(目標と指標)

- 2026年までにBCPを策定
- 2026年までに情報管理規定を策定